



①小林研三《春の丘》1975年

コレクションによる特別展示

# 春をまちわびて

エコロジー

美術から考える自然との調和

Special Exhibition of Works from the Collection: Ecology and Art

2022年2月23日（水・祝）—4月3日（日）

## 展覧会概要

今回の展覧会は、「エコロジー」がテーマです。エコロジーとは、もとは生態学を指す言葉です。今から 60 年前の 1962 年、アメリカの海洋生物学者レイチェル・カーソン(1907-1964) が環境汚染に警鐘を鳴らした著作『沈黙の春』を発表したことをきっかけに世界各地で環境保全運動が急速に拡大し、以来、エコロジーという言葉は自然や環境との調和を意味するものとして広く使われるようになりました。

それから半世紀が経過した今、地球温暖化による気候変動、放射能による汚染、未知のウイルスによる脅威など、私たちを取り巻く状況は深刻さを増しています。美術館で美術作品を鑑賞することが、地球上で起こるいくつもの問題を直接解決するわけではありません。しかし、時代や地域を越えて守られてきた作品との出会いは、自分とは違う「他」を思い、想像を巡らせ、いま自分にできることを見直す大きなきっかけとなるはずです。

本展では当館が所蔵するコレクションの中から自然や環境と向き合い制作された作品約 70 点を紹介し、今いる場所からエコロジーについて一緒に考えたいと思います。そして本展が、持続可能な未来に向かってともに歩むための第一歩となることを期待します。



②ピエール・ボナール《ヴェルノンのセーヌ川》1912年



③浅井忠《小丹波村》1893年

会期： 2022年2月23日(水・祝)―4月3日(日)

開館時間： 9:30―17:00(入館は16:30まで)

休館日： 毎週月曜(ただし3月21日は開館)、3月22日(火)

会場： 1階 企画展示室1―4

観覧料： 一般500(400)円/学生400(300)円/高校生以下無料

( )内は20名以上の団体割引料金

\*「美術館のコレクション」、柳原義達記念館もあわせてご覧いただけます。

\*障害者手帳等(アプリ含む)をお持ちの方および付き添いの方1名は観覧無料。

\*教育活動の一環として県内学校(小・中・高・特別支援)および相当施設が来館する場合、引率者も観覧無料(要申請)。

\*3月20日(日)の「家庭の日」は団体割引料金でご覧いただけます。

主催： 三重県立美術館

助成： 公益財団法人三重県立美術館協力会

## 広報媒体掲載時のお願い

展覧会のサブタイトル「美術から考える自然との調和」は、「美術から考える〈エコロジー〉」もしくは「美術から考える自然との調和（＝エコロジー）」と表記ください。

## 展示構成と主な出品作品（予定）

### 1 [自然と近代社会]

クロード・モネ《橋から見たアルジャントゥイユの泊地》 1874年 油彩画  
カミーユ・ピサロ《鋤（すき）で耕す農婦》 1890年 版画  
ピエール・ボナール《ヴェルノンのセーヌ川》 1912年 油彩画

### 2 [近代日本の自然と風景]

浅井忠《小丹波村》 1893（明治26）年 油彩画  
久米桂一郎《秋景下図》 1895（明治28）年 油彩画  
正宗得三郎《ヴェトイユの春》 1915（大正4）年 油彩画

### 3 [自然との距離]

岸田劉生《麦二三寸》 1920（大正9）年 油彩画  
海老原喜之助《森と群鳥》 1932（昭和7）年 油彩画  
梅原龍三郎《霧島》 1936（昭和11）年 油彩画

### 4 [自然と生きる 人間の営み]

北川民次《瀬戸十景》 1937（昭和12）年 版画  
中谷泰《陶土》 1958（昭和33）年 油彩画  
小林研三《狸（春）》 1950（昭和25）年 油彩画

### 5 [センス・オブ・ワンダー 不思議さに目をみはる]

ホセ・マリア・シシリア《蜜蜂の巣箱 III》（10点組） 1993年 混合技法（平面）  
イケムレイコ《birdgirl》 2006年 油彩画  
中谷ミチコ《あの山にカラスがいる》 2016（平成28）年 石膏、樹脂ほか（立体）

\*主に日本で制作された作品は西暦（和暦）を、海外で制作された作品は西暦のみを記しています。

## 広報用画像の提供について

本プレスリリース掲載の画像を広報用に提供します。ご希望の方は下記注意事項をお読みの上、ご希望の図版番号をメールまたはファクス、電話にてご連絡ください。図版データをお送りします。



④中谷ミチコ《あの山にカラスがいる》2016年  
photo: Hayato Wakabayashi

- ・ 作品情報、クレジットを必ず併記してください。
- ・ 作品部分にかかるトリミング・文字のせはご遠慮ください。
- ・ 掲載物を一部または紙面データを美術館にご提供ください。
- ・ 提供したデータについて、広報目的以外のご使用はできません。
- ・ ウェブサイト上に掲載する場合は、無断転載禁止の旨を明記し、コピーガードをかけて下さい。

## お問い合わせ

三重県立美術館 学芸普及課 原 舞子（はら まいこ）、橋本三奈（はしもと みな）  
〒514-0007 三重県津市大谷町 11  
TEL：059-227-2100（代表）／FAX：059-223-0570  
Email：haram02@pref.mie.lg.jp（原）、hashim06@pref.mie.lg.jp（橋本）